

請求の範囲

- [請求項1] ジシクロヘキシルメタンジイソシアネート ($H_{12}MDI$) を用いた反応生成物である熱可塑性ポリウレタンからなることを特徴とする熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- [請求項2] JIS K 7244-4 による損失正接の値を、 $-60^{\circ}C$ から最高で $60^{\circ}C$ まで温度を上げて測定した際に、この測定値が下記 (1) および (2) の条件を満たす請求項 1 に記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- (1) $15 \sim 60^{\circ}C$ の温度環境下において最大値を示すこと
 - (2) $0^{\circ}C$ 以下の温度環境下において最小値を示すこと
- [請求項3] JIS K 7244-4 による損失正接の値を、 $-60^{\circ}C$ から最高で $60^{\circ}C$ まで温度を上げて測定した際に、この測定値が、 $0 \sim 25^{\circ}C$ まで温度を上げた際に小さくなることなく、一定または大きくなる請求項 2 に記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- [請求項4] $23^{\circ}C \pm 2^{\circ}C$ の温度条件下で、 40% 伸ばした状態で停止してから 30 秒経過後の負荷 (残留応力) が $20N/25mm$ 以下であり、当該状態で停止してから 3 分経過後の応力緩和率が 25% 以上である請求項 1 から 3 のいずれかに記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- [請求項5] JIS K 7361-1 による全光線透過率が 90% 以上である請求項 1 から 4 のいずれかに記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- [請求項6] JIS K 7136 によるヘイズ値が 3.0 以下である請求項 1 から 5 のいずれかに記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム。
- [請求項7] 請求項 1 から 6 のいずれかに記載の熱可塑性ポリウレタンフィルム
の一方の面に表面コート層が形成されることを特徴とする多層フィルム。
- [請求項8] 前記表面コート層がウレタン結合を有する請求項 7 に記載の多層フィルム。
- [請求項9] 曲面を有する被着体を保護するために用いられる請求項 7 または 8

に記載の多層フィルム。